

鄭栄桓(チョン・ヨンファン)編・解説

# 『セチヨソン』 地方版

一九五〇～五五

附『全国版未復刊分・関連新聞・記事目録

## 在日朝鮮人資料叢書 16

### 本資料集の刊行意義

朝鮮戦争前後の在日朝鮮人の非公然団体・祖国防衛全国委員会機関紙『セチヨソン』(新朝鮮)の内、長らく幻の存在であった地方版を収録した。史料が少ない一九五〇年代の在日朝鮮人運動史の貴重な記録である。

『セチヨソン』全国版の内、未刊行号分と同時期の関連新聞も収録した。

非公然活動を余儀なくされた、祖国防衛全国委員会や祖国防衛隊の各地方における「祖国防衛」、教育権、生活権、在留権擁護のための苦闘の記録である。

本資料集の刊行に合わせて、地方版はもとより全国版の記事目録を作成し、読者・研究者の便宜を図った。また、日本国内に限定し、地名索引を作成し、記事の対象・報告地がわかるようにした。又、関連年表も付した。

この時期、在日朝鮮人活動家の多くが日本共産党に入り、密接に連係を保ちながら活動をしていたため、共産党の運動関係の記事も多く、戦後日本共産党史研究にとっても重要な史料である。

■体裁 全2巻・A4判・上製クロス装・ケース入り

■定価 本体4,600円＋税 ISBN78-4-88774-184-0 [分売不可]

■刊行 平成29年7月刊

本資料はA5判で刊行しておりますが、本書は原本の都合でA4判で刊行します。ご了承ください。

## 在日朝鮮人資料叢書 在日朝鮮人運動史研究会監修

- 1 在日朝鮮人史資料 在日朝鮮人運動史研究会編 全2巻/24,000円
- 2 在日本朝鮮人商工便覧 一九五七年版 在日本朝鮮人商工連合会編 6,000円
- 3 戦後初期在日朝鮮人人口調査資料集 長澤秀編 全2巻/3,600円
- 4 在日朝鮮人教育関係資料 佐野通夫編 全3巻/4,600円
- 5 朝鮮人強制動員関係資料 山田昭次編(品切) 全2巻/24,000円
- 6 在日朝鮮人留学生資料 裴始美編 全3巻/5,400円
- 7 在日朝鮮人警察関係資料 福井讓編 全3巻/4,800円
- 8 在日朝鮮人生活保護資料 金政昊編 全2巻/3,600円
- 9 在日朝鮮女性作品集 一九四五～八四 宋恵媛編 全2巻/3,200円

## 関東大震災 朝鮮人虐殺裁判資料

## 資料メディアの中の 在日朝鮮人

## 神奈川 朝鮮学校資料

## 朝鮮人強制動員 韓国調査報告

## 在日朝鮮人文学 資料集 一九五四～七〇

## 日本朝鮮研究所 初期資料 一九六一～六九

## (仮)解放後在日朝鮮 人文化運動資料

山田昭次編/裁判資料として現在知ることが可能な埼玉県(熊谷事件・本庄事件他)と群馬県(藤岡事件他)の地裁・東京訴訟院判決書等を収録 全2巻/3,600円

国外村大・韓載香・羅京洙編/在日朝鮮人の動向・実態・状況を伝えた一般紙の特集記事・連載記事、また総合雑誌の貴重な記事(一九二二～四四)を収録 18,000円

大石忠雄編/在日朝鮮人学校問題の歴史的経緯とその実態を正しく理解するための原点的な資料(一九四五～六〇)を中心に編集復刻した 全2巻/3,600円

龍田光司編/常磐炭田に戦時中、強制動員された朝鮮人の実態の解明と、韓国で被強制動員者の実態を当事者や遺家族から聞き取り調査した報告書 全2巻/3,600円

宋恵媛編/一九五〇年代半ばから六〇年代を中心に刊行された、多彩な在日文学雑誌(朝鮮文化・韓国文芸・鳳仙花文芸等全一七誌)を収録した初の資料集 全3巻/5,600円

国井上學・樋口雄一編/戦後日本の朝鮮研究はどの様な形で新たな出発をし、どの様な課題を抱えていたのか、創設期及び初期の内部資料を収録 平成29年4月刊 全3巻/5,400円

国宇野田尚哉編/第1集 在日朝鮮文学会とその周辺 一九四七～五九。解放後に在日朝鮮人がかかわった文化運動に関係する資料を、文学運動関係の雑誌を中心に収録 平成29年秋(全2集)

# 鄭栄桓「明治学院大学教養教育センター准教授」編・解説

# 『セチヨソン』 地方版

## 附『全国版未復刊分・関連新聞・記事目録

### 全2巻

全2巻

一九五〇～五五

朝鮮戦争のさなか在日朝鮮人により結成された非公然組織「祖国防衛全国委員会」の機関紙。長らく幻の存在であった地方版のほか、全国版で未復刊分を今回刊行。当該期は相次ぐ弾圧で史料が少なく、一九五〇年代の在日朝鮮人運動史の貴重な記録。利用者の便宜を図り、全記事目録を付す。

## 在日朝鮮人 資料叢書 16

緑蔭書房

●下記の書店にお申し込み下さい。

## 緑蔭書房

〒173-0004 東京都板橋区板橋 1-13-1  
電話 03(3579)5444 FAX03(6915)5418  
[消費税が別途加算されます]



『セチヨソン』祖国防衛全国委員会機関紙西日本版 181号 1953.11.11(第1巻所収)



『セチョソン』（新朝鮮）の地方版は長らく幻の存在であった。一九五〇年六月二五日の朝鮮戦争の勃発にともない、在日朝鮮人は戦争に対応するべく様々な活動を展開したが、そのうち朝鮮民主主義人民共和国を支持した旧在日本朝鮮人連盟（朝連）系の人々が結成したのが祖国防衛中央委員会（後に祖国防衛全国委員会、祖防委）と祖国防衛隊（祖防隊）であり、祖防委の機関紙が『セチョソン』（新朝鮮）である。一九五〇年代の在日朝鮮人運動に関する史料は相次ぐ弾圧のため他の時期と比較しても著しく不足しているが、『セチョソン』はこうした欠落を埋め在日朝鮮人の活動と認識を知る手がかりとなる貴重な史料である。故・朴慶植氏の尽力により『セチョソン』全国版（一九五〇年一月〜五四年九月、全二九七号）はそのほとんどが収集・公刊されたが、地方版は治安当局の報告などでその存在が指摘されてはいたものの、原本はごく一部しか知られていなかった。

本資料集は、これら祖国防衛委員会の地方委員会が発行した地方版のうち、新たに発見された西日本、九州、中日本、東京、大阪版を収録・刊行するものである。あわせて、既刊の資料集に収録されていない全国版未復刊分、さらに在日本朝鮮民主統一戦線（民戦）の機関紙『朝鮮新聞』など、同時期の関連する新聞も収録した。

本資料集は、日本の植民地体制崩壊からわずか五年後に生じた朝鮮の「熱戦」のさなか、在日朝鮮人がいかなる活動を展開したかを知る貴重な手がかりとなるだろう。祖防委は占領下で非公然活動を余儀なくされながらも、米軍の武器輸送阻止や反戦運動など「祖国防衛」に関する活動にくわえ実に多彩な活動を展開したが、『セチョソン』には在日朝鮮人の生活権や教育権の擁護闘争、強制送還反対闘争など、その苦闘のさまが具体的に記されている。また、この時期の在日朝鮮人活動家の多くは日本共産党に入り、祖防委や民戦も日本共産党と緊密な関係を保ちながら活動を行なったため、戦後日本共産党史の研究にとっても、重要な史料であるといえるだろう。

本資料集の刊行に合わせて、地方版の記事目録はもとより全国版の全記事目録と地名索引等を付して読者・研究者の便宜を図った。朝鮮現代史研究はもちろん、日本の戦後社会運動史、ひいては東アジアの現代史に関心を持つ多くの方々に利用されることを願う。

鄭栄恒（明治学院大学教養教育センター准教授）

第1巻

I 『セチョソン』（新朝鮮）地方版

1『セチョソン』祖国防衛全国委員会機関紙西日本版　一九五二年・一九五三年  
生保は日本国民だけ　朝鮮人は「送還」で取消を厳命（第一〇六号）  
強制送還、強制隔離反対、連名で声明を決議　大阪の九・九統一懇談会（第一一一号）  
予備隊の朝鮮出兵は事実　姫路隊員からの手紙（第二一六号）  
朝鮮戦争の即時休戦！　全関西各地で休戦促進一大ケツ起大会（第一四二号）  
焼酎弾圧反対斗争から基地撤去統一行動へ　青野ヶ原演習場の日・朝共斗組織の経験（第一八〇号）

2『セチョソン』祖国防衛中日本委員会機関紙　一九五一年・一九五二年  
登録拒否に結集した大衆を更に次の斗争へ発展させよ！（第三八号）

3『セチョソン』祖国防衛全国委員会機関紙九州版　一九五二年  
大村収容所の弾圧は在日同胞の全面追放の陰謀（第九〇号）  
京都府の同胞　特設学級設置を闘う（第九一号）

4『セチョソン』祖国防衛東京委員会機関誌　一九五四年―一九五五年  
一万二千時間をかせせ　学校閉鎖と闘う朝高生（第一号）  
〇〇町における朝鮮人砂利業の調査報告（第三号）

5『セチョソン』祖国防衛大阪府委員会機関紙　一九五三年  
アメリカついに屈服す　追撃へ！　祖防大阪府委が声明（号外）

II 『セチョソン』（新朝鮮）全国版（未復刊分）  
『セチョソン』祖国防衛全国委員会機関紙　一九五〇年―一九五四年  
平和戦取・救国斗争　初盤戦は好調、関東各地の斗争状況（第四〇号）  
強制送還反対、村会で決議（九州祖防委発）（第六八号）  
真に日本人と手をつなぐ道　親善のために色々と努力　日朝婦人が結びつくまで　東京田町（第二九二号）  
日本人と一緒にやってほんとに元気がでた　生保・職よこせで市役所へ　川崎（第二九四号）

III 関連新聞  
1『解放朝鮮』一九五一年九月三〇日・一〇月六日  
2『조선신문』（朝鮮新聞）一九五一年一〇月二二日・六月一〇日  
3『セチョソン』一九五二年九月九日  
4『朝鮮新聞』一九五二年九月一六日  
5『政策時報』一九五二年二月二七日〜一九五三年四月二一日

第2巻

解説 『セチョソン』とその時代　鄭栄恒

I 『セチョソン』（新朝鮮）記事目録

1『セチョソン』（新朝鮮）地方版記事目録／2『セチョソン』（新朝鮮）全国版記事目録／3 関連新聞記事目録

II 地名索引　1『セチョソン』地方版／『セチョソン』全国版  
III 『セチョソン』（新朝鮮）関係年表（一九四九―一九五五）



『セチョソン』 祖国防衛東京委員会機関紙 一九四四年（一月）―一九五四年四月	<p>第号　一〇四〇日</p> <p>1面 主張　朝鮮民主主義人民共和国人民としての權利をいえる為に 2面 発刊のとは　祖国防衛東京委員会 抵抗（北部通信）「寸評」 3面 外人線は掛け　日米国民と一緒に吉田を倒そう（三多摩通信）東京、東京通信 見発・足立 減びゆく敵のインボウ　卑劣な脅迫とスパイ活動（東京通信）東京 品川でも（南部通信）東京 民族教育死守の祭典　運動会に日本国民多数参加（北部通信）東京（品川）</p>
一九五四年	<p>第号　二一四〇日</p> <p>1面 主張　中国紅土代表團を歓迎するに当りて 2面 御苦労と紅土代表團　私たちの代表として迎えよう（東京通信）東京 「3面（続）」 3面 中小企業をつぎ敵は品とアメリカだ　要求が通るまでと闘おう（南田鉄工仿者）南部通信 4面 税金？とんでもない　水道・電代と闘う（中部通信）神田 健康を守るための目撃者救うため、もっとみじめな連中を（中部通信）西新井 〇〇町における朝鮮人砂利業の調査報告（三多摩） 第号　二一四〇日</p>
一九五〇年	<p>第号　二一四〇日</p> <p>1面 主張　平和的共存を民主主義精神を尊ぶため、さらに委員活動を強化しよう 2面 中国紅土代表團の来日の方針　祖国の代表として迎えよう（東京通信）東京</p>
一九四九年	<p>第号　二一四〇日</p> <p>1面 主張　中国紅土代表團を歓迎するに当りて 2面 御苦労と紅土代表團　私たちの代表として迎えよう（東京通信）東京 「3面（続）」 3面 中小企業をつぎ敵は品とアメリカだ　要求が通るまでと闘おう（南田鉄工仿者）南部通信 4面 税金？とんでもない　水道・電代と闘う（中部通信）神田 健康を守るための目撃者救うため、もっとみじめな連中を（中部通信）西新井 〇〇町における朝鮮人砂利業の調査報告（三多摩） 第号　二一四〇日</p>
一九五一年	<p>第号　二一四〇日</p> <p>1面 主張　平和的共存を民主主義精神を尊ぶため、さらに委員活動を強化しよう 2面 中国紅土代表團の来日の方針　祖国の代表として迎えよう（東京通信）東京</p>
一九五二年	<p>第号　二一四〇日</p> <p>1面 主張　平和的共存を民主主義精神を尊ぶため、さらに委員活動を強化しよう 2面 中国紅土代表團の来日の方針　祖国の代表として迎えよう（東京通信）東京</p>
一九五三年	<p>第号　二一四〇日</p> <p>1面 主張　平和的共存を民主主義精神を尊ぶため、さらに委員活動を強化しよう 2面 中国紅土代表團の来日の方針　祖国の代表として迎えよう（東京通信）東京</p>
一九五四年	<p>第号　二一四〇日</p> <p>1面 主張　平和的共存を民主主義精神を尊ぶため、さらに委員活動を強化しよう 2面 中国紅土代表團の来日の方針　祖国の代表として迎えよう（東京通信）東京</p>
一九五五年	<p>第号　二一四〇日</p> <p>1面 主張　平和的共存を民主主義精神を尊ぶため、さらに委員活動を強化しよう 2面 中国紅土代表團の来日の方針　祖国の代表として迎えよう（東京通信）東京</p>

『セチョソン』（新朝鮮）関係年表（一九四九―一九五五）

一九四九年	<p>九月　八日　在日本朝鮮人連盟・在日本朝鮮民主青年同盟、団体等規正令により解散 一〇月　一日　中華人民共和国成立 一〇月　九日　文部省、朝鮮人学校に閉鎖・改組通告 二一四日　中ソ友好同盟相互援助条約調印 六二五日　朝鮮戦争開戦 六二八日　祖国防衛中央委員会結成決議 七　四日　日本政府、朝鮮における米国の軍事行動に行政措置の範囲内で協力することを閣議決定 七　七日　国連安保理、国連軍設置を決議 七　八日　マッカーサー、警察予備隊の創設を指示 八　二日　『解放新聞』停刊 八　八日　在日韓僑自願軍結成 九　二五日　米軍（国連軍）、仁川上陸作戦 一〇月　二五日　中国人民志願軍（総司令・彭徳懷）参戦 一二月　二五日　『セチョソン』（새조선）（新朝鮮）創刊（二二号より祖国防衛全国委員会機関紙と明記） 一二月　三〇日　トルーマン、朝鮮での原爆使用ありつると言明 二二二八日　大村収容所開設</p>
一九五一年	<p>一　四日　中国・朝鮮軍、ソウルを再占領 一　九日　在日本朝鮮統一民主戦線（民戦）結成 二二三日　日本共産党第四回全国協議会、武装闘争方針を提起 四二一日　マッカーサー解任、後任にリッジウェイ 六二三日　ソ連国連代表マリク、停戦を呼びかける演説 七二〇日　朝鮮戦争休戦交渉開始 九　八日　対日講和条約、日米安全保障条約調印、吉田・アチソン交換公文 一〇月　四日　出入国管理令・入国管理庁設置令公布（一一・施行） 一〇月　二〇日　日韓予備会談開始 一二月　二八日　韓国、海洋主権宣言、李承晩ラインをしく 二一五五日　第一次日韓正式会談開始 四二一八日　対日講和条約発効、外国人登録法施行、在日朝鮮人・台湾人は日本国籍喪失 五　一日　メーデー事件 五二〇日　『解放新聞』復刊 六二二四日　吹田事件 一〇月　外国人登録第二回一斉切替 一二月　五日　スターリン死去 七二七日　朝鮮戦争停戦協定調印 二二二三日　『セチョソン』西日本版停刊、全国版へ一本化 六二二八日　周恩来・ネルー「平和五原則」 九二二日　『セチョソン』全国版停刊（二九七号）、一〇月以降は地方版のみ発行 二二二五日　南日外相、日本へ国交正常化呼びかけ 三二二四日　『セチョソン』東京版一三、一四号より「祖国防衛東京委員会機関紙」の名称が消える 三二二二日　民戦第一九回中央委員会、韓徳鉄「在日朝鮮人運動の転換について」を発表 五二二五日　民戦解消、在日本朝鮮人総聯合会結成</p>